

公募設置管理制度(Park-PFI)導入検討支援業務 提案書《概要版》

企画提案書①

区が指定した5公園から1箇所選定し、Park-PFIにより、その公園の魅力及び公園利用者の利便の向上が図られるか分析し、記載してください。

①-1 Park-PFI の導入効果の最大化に向けた公園選定

- 調査・アドバイザー業務受託者と事業者双方の経験を活用
- 将来的な Park-PFI の事業化を見据え、導入効果を最大化できる公園候補を検討

①-2 利用実態調査結果の分析による1次選定

- 「利用実態調査」に基づき、5公園の区民ニーズ及び利用実態の傾向を比較・分析
- Park-PFI 導入との親和性を評価・得点化し、1次選定を実施 →3公園を選定

①-3 事業実現に向けた Park-PFI 導入の可能性の分析による2次選定

- 1次選定後の公園について Park-PFI 事業の実現及びその効果が十分に期待できるかを評価
- 公園特性等から各公園の強み・弱みを整理し2次選定を実施 →1公園を選定

①-4 選定公園の魅力及び公園利用者の利便の向上の分析

- 事業性等の複数の視点から Park-PFI 導入に向けた課題を整理
- 具体的な導入機能とその効果（魅力と利便性の向上）を提示

企画提案書②

Park-PFI 導入可能性のある公園の選定方法及び事業発案時のサウンディング調査の実施方針を具体的に提案してください。

②-1 Park-PFI の導入可能性のある公園の選定方法

- 導入効果が高い公園を対象としつつ、円滑な民間活力導入を重視
- 事業者提案を実現しやすい公園を対象とすることが適切
- 公園特性等の複数の観点から評価し、3～5公園を選定

②-2 事業発案時のサウンディング調査の実施方針

- 調査参加事業者を増やし、具体的なアイデアや事業参入の意向を丁寧に聴取
- サウンディング調査を複数の段階に区分し、それぞれに効果を発揮しやすい工夫を実施
- 結果は、市場性の確認や公園の選定根拠、具体的な活用手法の検討に反映

企画提案書③

開業までを見通した検討フロー及びスケジュールと他自治体での事例等から開業までの課題を記載し、それらに対応していくために実施すべき検討手法等を提案してください。

③-1 開業までの検討フロー・スケジュール

- 令和7年度は候補公園の選定、令和8年度は導入可能性検討を実施予定
- 令和9年度以降の実施項目・検討事項及びスケジュールを案出

③-2 開業までの課題とその対応手法等

- 長期間にわたり課題が発生する可能性があるが公募前の条件等設定時の対応が大切
- 特に、特定公園施設については事業規模を考慮した施設設定が重要
- 民間活力導入可能性調査や Park-PFI 事業者としての経験から港区と協議の上、適切に対応